

マレーシア航空 MH17 便は  
東ウクライナ戦闘地域の上空を飛ぶように指示された  
(マレーシア航空が正式発表)

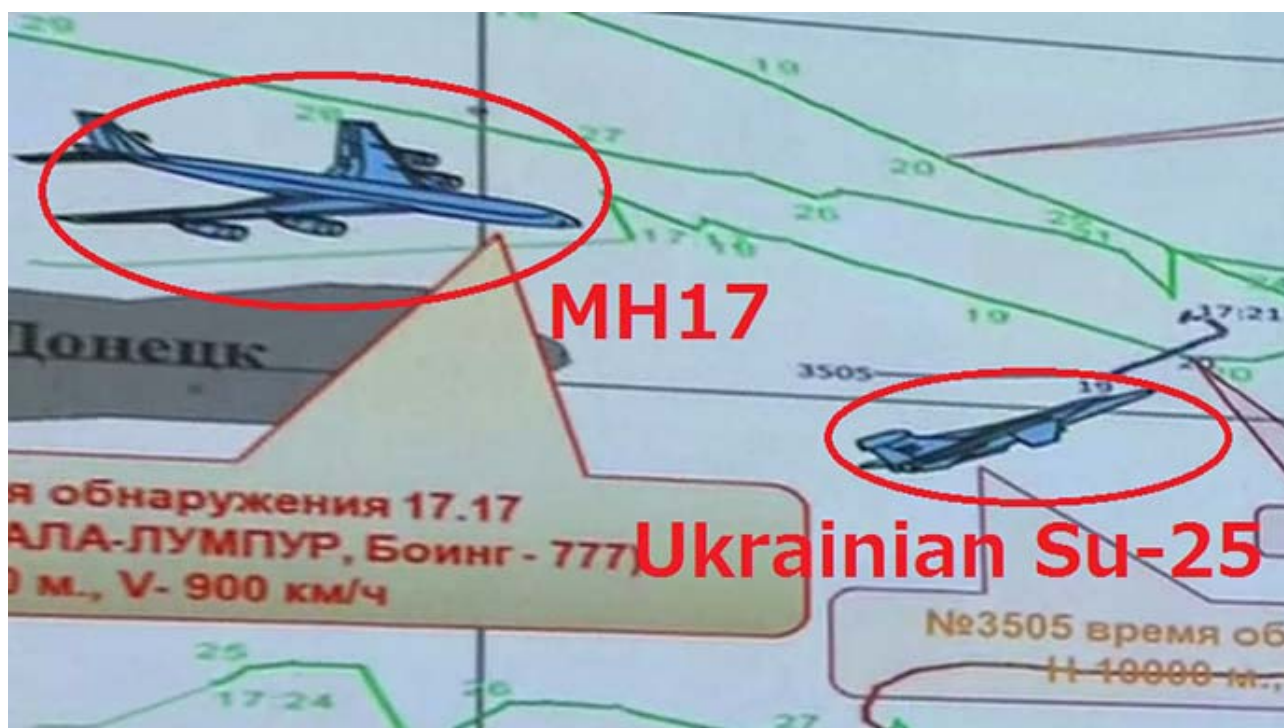
ミシェル・チョストフスキー

**Malaysian Airlines MH17 Was Ordered to Fly over the East Ukraine Warzone**  
Malaysian Airlines Confirms that it was Instructed to Fly MH17 at Lower Altitude over East Ukraine

By Prof Michel Chossudovsky  
Global Research, July 21, 2014

<http://www.globalresearch.ca/malaysian-airlines-mh17-was-ordered-to-fly-over-the-east-ukraine-warzone/5392540>

翻訳：寺島隆吉、寺島美紀子、新見明、公開 2014 年 9 月 3 日



MH17 便の飛行経路に関してマレーシア航空は、パイロットがウクライナ空域に入るとすぐキエフ航空管制塔から通常より高度を下げよう指示されたことを確認し、次のような声明を発表した。(詳細はマレーシア航空のプレスリリースを参照)

「MH17 便はウクライナ上空を高度 3 万 5 千フィート(約 1 万 700m)で飛ぶ飛行プランを提出した。これはほぼ‘典型’高度である。しかし飛行高度は地上の航空管制官が決定する。ウクライナ領空に入るとき MH17 便は、ウクライナ航空管制官から 3 万 3 千フィートを飛行するように指示された。」

<http://www.malaysiaairlines.com/my/en/site/mh17.html>

3 万 3 千フィートは、飛行禁止高度 32000 フィートの 1000 フィート上空(約 300m)である。このウクライナ航空管制官の要求は、そのとおり実行された。(下図参照)

## Comparing Altitudes

Ukraine officials say Flight 17 was shot down by a Buk missile system. Russian separatist leaders say they only have shoulder-fired 'manpads' that couldn't reach the plane.



Approx. range of Buk missile system: **49,000 feet**

Typical long-haul flight: **35,000 to 39,000 feet**

Flight 17: **33,000 feet**



Restricted airspace:  
**Surface to 32,000 feet**  
Expanded to all altitudes after crash.

Approx. range of manpad: **13,000 feet**



Not to scale



Sources: Eurocontrol (restricted airspace); Flightradar24 (path); Federation of American Scientists (Buk altitude); Boeing (cruising altitude), news reports

Note: Upgraded variants of the Buk system have greater ranges.

The Wall Street Journal

### “通常”許可されている飛行経路を離脱

MH17 便の飛行経路に関してマレーシア航空は、欧州航空管制局（Eurocontrol）および国際民間航空機関 ICAO によって設定されたルールに従っていたとして次のような発表をおこなった。

「欧州航空管制局」（Eurocontrol）の職員たちのコメントに言及したい。これは国際民間航空機関 ICAO の規則にしたがってヨーロッパの飛行経路を承認する機関だ。

その職員たちは、ウォールストリートジャーナル紙によれば、国際線の 150 便を含む約 400 便の民間飛行機が、その墜落以前にも毎日、東ウクライナを通過していたし、事故発生前の 2

日間で75の航空会社がMH17便と同じ飛行経路を飛んでいた。

MH17便の飛行経路は、空の高速道路のような、過密な主要航路であった。MH17便は、ICAOによって設定され、欧州航空管制局によって承認され、他の何百という航空機が使っている経路を進んだのだ。

MH17便は、決められた高度を飛び、したがって地域[ウクライナ]航空管制局によって安全が保証されていた。またMH17便は飛行制限空域へ入りこむことはなかった。[註：このマレーシア航空の声明は最新の証拠によって誤りだったことが証明されている。]

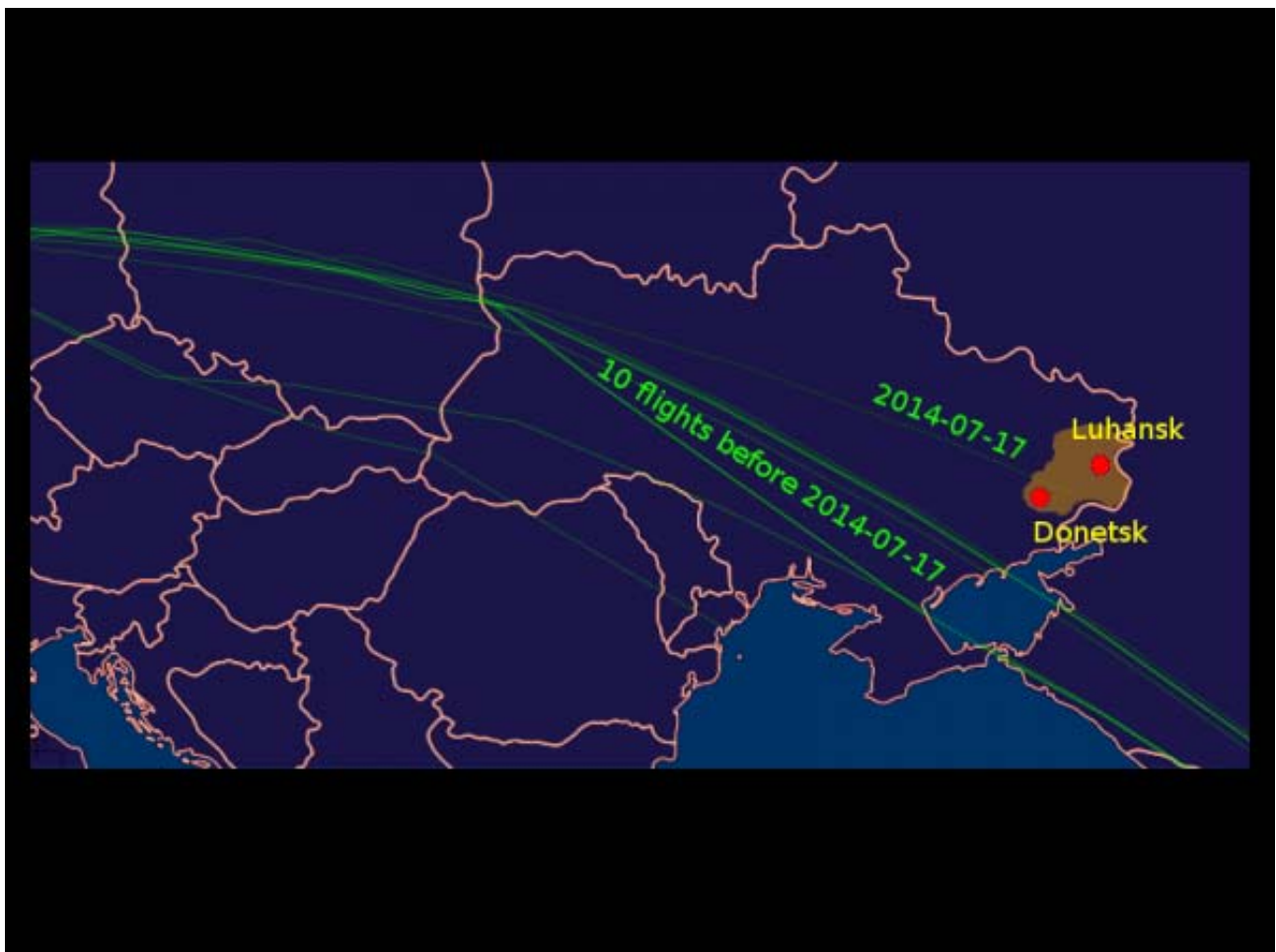
MH17便と運行責任者たちは規則を遵守した。しかし地上では戦時法規が破られた。受け入れがたい攻撃によってMH17便は撃墜された。つまり乗客・乗務員はミサイルによって殺されたのだと思われる。

何度も言うが、事件が起こったウクライナ領空の飛行経路はヨーロッパが通常アジア便として使っているものだ。さまざまな航空会社の航空便もMH17便の事故の時と同じ飛行経路を通っていた。その日も、数週間前も、他の航空会社の数多くの他の便も同様だった。欧州航空管制局は、ウクライナ領空を含めヨーロッパ空域を通過する全便の記録を保有している。

この声明で確認されているのは、MH17便の「通常飛行経路」が1日あたり東ウクライナを通過する約150の国際便の飛行経路と類似していたということである。

マレーシア航空によれば「[アゾフ海を横切る]通常航路は、ICAOによって安全であると認定されていた。国際民間航空輸送協会IATAも、飛行機が通過する空域は飛行制限の対象になっていなかったと述べている。」

その承認された飛行経路は下図のとおりである。7月17日(惨事があった日)以前10日間の、MH17便(および他の国際便)の通常飛行経路は、東ウクライナを南東方向へ通過するときは、アゾフ海を横切るコースである。



7月17日の飛行経路は変更された

先述のとおり、マレーシア航空のプレスリリースは、次のように述べていた。

MH17機と運行責任者たちは規則を遵守した。しかし地上では、戦時法規が破られた。受け入れがたい攻撃でMH17便は撃墜された。乗客と乗務員はミサイルで殺されたのだと思われる。

MH17便の音声記録がキエフ政府によって押収されているので詳細は不明だが、少なくとも飛行経路を変更せよという指令は、欧州航空管制局からは出ていなかった。この飛行経路変更の指令はウクライナ当局が出したものであったのか。パイロットは経路変更を指示されたのだろうか。

### 英国メディアのでっち上げ：「なかった嵐をひねり出せ」

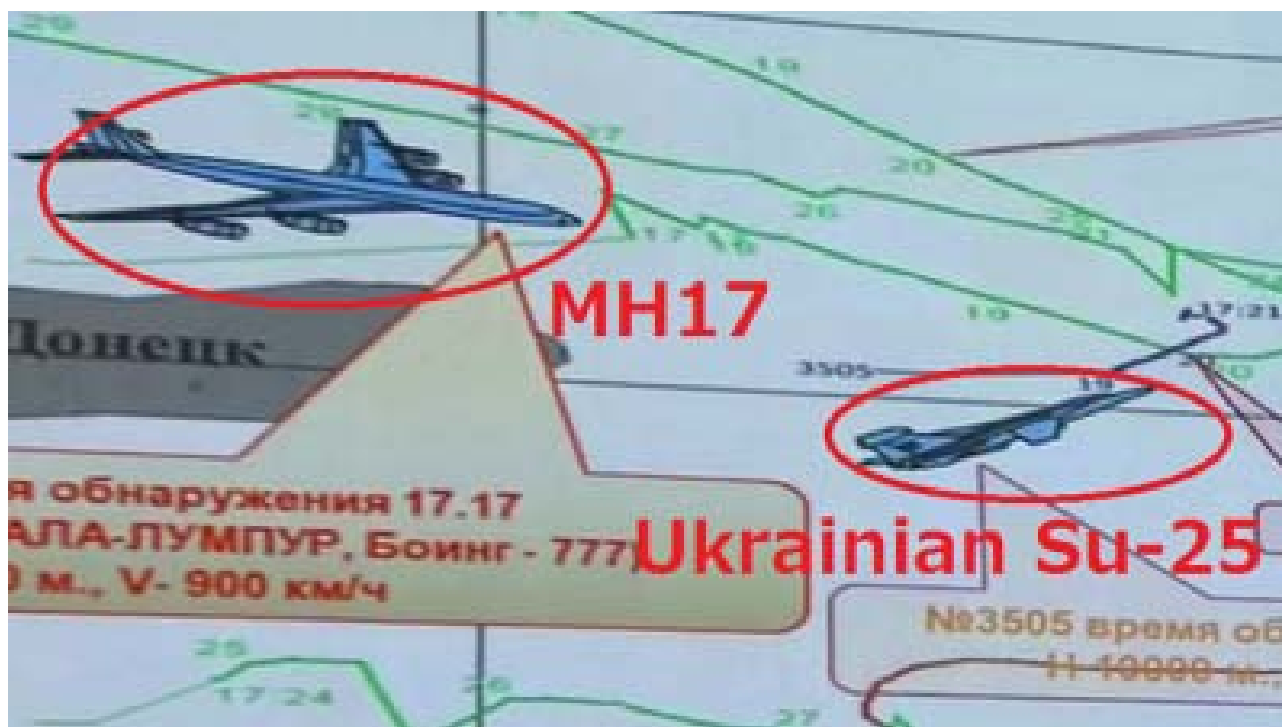
イギリスのニュースメディアは、飛行経路変更があったことを認め、それは「南ウクライナの雷雨を避ける」ためだったと証拠もなしに主張している。他方、ニュース・マレーシア（2014年7月20日）は次のように報じた。

マレーシア航空の運行責任者イザム・イスマイルも、天候悪化のせいでMH17便に飛行計画を変更したという主張に異議を唱えている。「パイロットから天候悪化による航路変更を示唆する報告はなかった」とイザムは語った。

しかし重要なのは次の二つだ。飛行経路の変更が実際におこなわれたことを西欧メディアも認めているということ、そして「天候悪化」の話がでっち上げだったということだ。

### ウクライナのジェット戦闘機、民間航空機用の航路にあらわれる

注目しなければならないことは、空対空 R-60 ミサイルを装備したウクライナ軍の戦闘機 SU-25 がマレーシア機の 5-10km 圏内で探知されたことである。戦闘機が民間航空機用に確保された飛行経路に侵入していたのだ。この戦闘機を配備した目的は何だったのか。ウクライナの戦闘機はマレーシアの民間機を戦闘空域に向け、北の方角に“誘導した”のではないのか。



ロシア国防省提供

<註> 『アジア記者クラブ通信』 2014年8月号はこの映像にたいして次のような解説を付している。

「ロシア国防省が7月21日、衛星写真や完成レーダー情報を使って、米欧の非難に反撃した際に示したデータ。マレーシア航空機が墜落する直前、ウクライナ空軍のSU-25が同機に接近していたこと、墜落現場であるドネツク市の北方には、ブークを保有する防空部隊が存在していなかったことなど、西側の言いがかりを否定する証拠の数々を示した。」

## 2014年7月16日のMH17便の航路と 2014年7月17日に戦闘空域に入ったMH17便の 飛行経路を比較する

マレーシア航空 MH17 便の 7 月 17 日の航路変更は下図で明示されている。MH17 便を戦争地域であるドネツクやルガンスク上空に連れ込んでいる。

次のふたつの地図は 2 つの航路を比較している。7 月 17 日の航路は、ルガンスク州に接するドネツク州の戦闘空域に MH17 便を連れ込んでいる。16 日のアゾフ海を通る航路と比べてみれば、これは明らかだ。

私たちは、マレーシア航空に公式声明をだすことを求め、MH17 便のパイロットとキエフ航空管制塔の交信音声ファイルの公表を要求している。

これらの音声記録の文字起こしは公表されるべきである。

さらに確認しなければならないのは、ウクライナのジェット戦闘機 SU-25 がマレーシア航空 M17 便と交信していたかどうかである。

いずれにしても、複数の証拠から確認できることは、7 月 17 日の飛行経路が通常の認められた飛行経路では「なかった」ことである。飛行経路は変更されていた。その変更は欧州航空管制局による指令ではなかった。

飛行機を戦闘地域に誘導し、298 人を死に至らしめたこの経路変更の背後には一体誰がいたのか。飛行経路変更の理由は何だったのか。

Скриншоты сделаны 17.07.2014 в 22:40 (Минск).

Ссылки на сайт:

<http://ru.flightaware.com/live/flight/MAS17/history/20140716/100CZ/EHAM/WMKK> - рейс 17 - 16 июля 2014 года (первый скриншот)

<http://ru.flightaware.com/live/flight/MAS17/history/20140717/100CZ/EHAM/WMKK> - рейс 17 - 17 июля 2014 года (второй скриншот)

Screenshots made on 17.07.2014 at 22:40 (Minsk)

Links to the site:

<http://ru.flightaware.com/live/flight/MAS17/history/20140716/100CZ/EHAM/WMKK> - flight 17 - July 16, 2014 (first screenshot)

<http://ru.flightaware.com/live/flight/MAS17/history/20140717/100CZ/EHAM/WMKK> - flight 17 - July 17, 2014 (second screenshot)

Want a full history search for MAS17 dating back to 1998? [Buy now. Get it within one hour.](#)

Destination	Departure	Arrival	Duration
Kuala Lumpur Intl (WMKK / KUL)	12:10PM CEST	06:00AM MYT (+1)	Scheduled
Kuala Lumpur Intl (WMKK / KUL)	12:30PM CEST	05:59AM MYT (+1) (Z)	11:28
Kuala Lumpur Intl (WMKK / KUL)	12:18PM CEST	05:44AM MYT (+1)	11:25
Kuala Lumpur Intl (WMKK / KUL)	12:23PM CEST	05:54AM MYT (+1)	11:30
Kuala Lumpur Intl (WMKK / KUL)	12:13PM CEST	05:52AM MYT (+1)	11:38

Classic

Malaysia Airlines 17  
(Track inbound flight)  
MAS17 - "Malaysian" (all flights) (website)

Amsterdam Schiphol (EHAM / AMS) Kuala Lumpur Int'l (WMKK / KUL)  
Terminal M

12:18PM CEST Scheduled: 12:00PM CEST Scheduled: 05:50AM MYT (+1)  
7-day average: 12:11PM CEST 7-day average: 04:26AM MYT (+1)

Other flights between these airports

Duration: 11 hours 25 minutes  
Wednesday, July 16, 2014

Status: Arrived over 21 hours ago (track log & graph)  
Aircraft: Boeing 777-200 (twin-jet) (B772 - photos)  
Speed: Filed: 468 kts (graph)  
Distance: Direct: 6,368 sm Planned: 6,368 sm Flown: 6,665 sm

© 2014 FlightAware  
Weather: 16-Jul-2014 12:00PM

Скриншоты сделаны 17.07.2014 в 22:40 (Минск).

Ссылки на сайт:

<http://ru.flightaware.com/live/flight/MAS17/history/20140716/1000Z/EHAM/WMKK> - рейс 17 - 16 июля 2014 года (первый скриншот)

<http://ru.flightaware.com/live/flight/MAS17/history/20140717/1000Z/EHAM/WMKK> - рейс 17 - 17 июля 2014 года (второй скриншот)

Screenshots made on 17.07.2014 at 22:40 (Minsk)

Links to the site:

<http://ru.flightaware.com/live/flight/MAS17/history/20140716/1000Z/EHAM/WMKK> - flight 17 - July 16, 2014 (first screenshot)

<http://ru.flightaware.com/live/flight/MAS17/history/20140717/1000Z/EHAM/WMKK> - flight 17 - July 17, 2014 (second screenshot)

Want a full history search for MAS17 dating back to 1998? [Buy now. Get it within one hour.](#)

Destination	Departure	Arrival	Duration
Kuala Lumpur Int'l (WMKK / KUL)	12:10PM CEST	06:00AM MYT (+1)	Scheduled
Kuala Lumpur Int'l (WMKK / KUL)	12:30PM CEST	05:59AM MYT (+1) (2)	11:28
Kuala Lumpur Int'l (WMKK / KUL)	12:18PM CEST	05:44AM MYT (+1)	11:25

## 2014年7月14-17日のMH17便の飛行経路のスクリーンショット

下の4つの画像は、2014年7月14-17日の間のMH17便の飛行経路画像を示している。これらの地図が伝える情報が示しているのは、7月17日の飛行経路が変更されたということだ。

MH17便は、アゾフ海上空を飛ぶ通常の南東経路から、ドネツク州上空の経路に迂回させられた。誰が飛行経路変更を命令したのか。

↓7月14日の航路

Классическая

Malaysia Airlines 17  
(track inbound flight)  
MAS17 - "Malaysian" (all flights) (website)

Схипхол (EHAM / AMS) Kuala Lumpur Int'l (WMKK / KUL)  
Терминал М

12:13 CEST Scheduled: 12:00 CEST Scheduled: 05:52 MYT (+1)  
Среднее за 7 дней: 12:11 CEST Среднее за 7 дней: 04:28 MYT (+1)

Длительность: 11 ч. 38 мин.  
понедельник, 14 Июль 2014

Status: Arrived 3 days ago (track log & graph)  
Aircraft: Boeing 777-200 (2-eng. react.) (B772 - photo)  
Route speed: Registered: 468 kts (graph)  
Distance: Direct distance — 10,248 km Route distance — 10,246 km Covered dist.: 10,391 km

© 2014 FlightAware  
Погода: 14 июл 2014 20:00

↓7月15日の航路、↓7月16日の航路

Обсуждение полетов → Malaysia Airlines (MH) #17 → 15 июль 2014 → ENAM / AMS - WMKK / KUL



### Malaysia Airlines 17

[\(открыть приближенный рейс\)](#)  
MAS17 "Malaysian" [\(все сайты\)](#) [\(web-site\)](#)

Схитхол [\(ENAM / AMS\)](#)      Kuala Lumpur Int'l [\(WMKK / KUL\)](#)  
Терминал M

**12:23 CEST**      **05:54 MYT (+1)**  
 Планируемое 12:00 CEST      Планируемое 05:50 MYT (+1)  
 Среднее за 7 дней: 12:11 CEST      Среднее за 7 дней: 04:26 MYT (+1)

Длина рейса между этими аэропортами

Длительность: 11 ч. 30 мин.  
**вторник, 15 Июль 2014**

Статус	Прилетел 2 дн. назад. <a href="#">(сменить отображение и график)</a>
Воздушное судно	Boeing 777-200 (2-двиг. реакт.) <a href="#">(B772 - фото)</a>
Путь, скорость	Зарегистрирован: 468 кг <a href="#">(график)</a>
Расстояние	Прямое расстояние — 10,248 км    Маршрутное расстояние — 10,246 км    Покрыт. раст.: 10,465 км

[Google maps](#)

Обсуждение полетов → Malaysia Airlines (MH) #17 → 16 июль 2014 → ENAM / AMS - WMKK / KUL



### Malaysia Airlines 17

[\(открыть приближенный рейс\)](#)  
MAS17 "Malaysian" [\(все сайты\)](#) [\(web-site\)](#)

Схитхол [\(ENAM / AMS\)](#)      Kuala Lumpur Int'l [\(WMKK / KUL\)](#)  
Терминал M

**12:18 CEST**      **05:44 MYT (+1)**  
 Планируемое 12:00 CEST      Планируемое 05:50 MYT (+1)  
 Среднее за 7 дней: 12:11 CEST      Среднее за 7 дней: 04:26 MYT (+1)

Длина рейса между этими аэропортами

Длительность: 11 ч. 25 мин.  
**среда, 16 Июль 2014**

Статус	Прилетел больше 20 ч. назад. <a href="#">(сменить отображение и график)</a>
Воздушное судно	Boeing 777-200 (2-двиг. реакт.) <a href="#">(B772 - фото)</a>
Путь, скорость	Зарегистрирован: 468 кг <a href="#">(график)</a>
Расстояние	Прямое расстояние — 10,248 км    Маршрутное расстояние — 10,246 км    Покрыт. раст.: 10,727 км

[Google maps](#)

↓7月17日の航路

Обсуждение полетов → 马来西亚航空公司 (MH) #17



### Malaysia Airlines 17

[\(открыть приближенный рейс\)](#)  
MAS17 "Malaysian" [\(все сайты\)](#) [\(web-site\)](#)

Схитхол [\(ENAM / AMS\)](#)      Kuala Lumpur Int'l [\(WMKK / KUL\)](#)  
Терминал M

**12:30 CEST**      **05:59 MYT (+1) (Z) (+1)**  
 Планируемое 12:00 CEST      Планируемое 05:50 MYT (+1)  
 Среднее за 7 дней: 12:11 CEST      Среднее за 7 дней: 04:26 MYT (+1)

Длина рейса между этими аэропортами

Длительность: 11 ч. 28 мин.  
**четверг, 17 Июль 2014**

Статус	известно <a href="#">(Z безавт. отображение и график)</a>
Воздушное судно	Boeing 777-200 (2-двиг. реакт.) <a href="#">(B772 - фото)</a>
Путь, скорость	Зарегистрирован: 468 кг <a href="#">(график)</a>
Расстояние	Прямое расстояние — 10,248 км    Маршрутное расстояние — 10,246 км

[Google maps](#)

ふたつの悲劇的事件（3月のマレーシア航空機失踪事件につづく今回の事件）の結果として、マレーシア航空がこうむった被害にも明らかにされなければならない。

マレーシア航空は、これまでかなり高い安全水準を保ち、優れたキャリアを有する航空会社だった。これら2つの事故は、ひとつの犯罪的企ての部分である。少なくとも相次いだ事故は（この事故でマレーシア航空は破産に直面する可能性がある）マレーシア航空側の怠慢によるものではない。

#### <訳者追記>

先に紹介した『アジア記者クラブ通信』2014年8月号には「MH17 便はウクライナ空軍機により撃墜された」と題する衝撃的な分析も紹介されています。ドイツのルフトハンザ航空傘下にあったコンコルド航空のベテラン操縦士です。

#### Shocking Analysis of the ‘Shooting Down’ of Malaysian MH17

By Peter Haisenko, Juli 30, 2014

<http://www.anderweltonline.com/wissenschaft-und-technik/luftfahrt-2014/shocking-analysis-of-the-shooting-down-of-malaysian-mh17/>

以下は氏のサイトに載せられていた写真です。この写真を見れば分かるように操縦室は「弾丸など発射体の出入りで出来た無数の穴」がありますが、尾翼の損害は全く軽微です。地対空ミサイル BUK で撃墜された場合、このようなことはありえません。

操縦室（コックピット）



コックピット部分を拡大した写真



尾翼



ボイスレコーダーもブラックボックスも回収されて西側の手に渡されているにもかかわらず、一切その分析結果は公表されていません。西側メディアも MH17 機の撃墜がロシアや反キエフ勢力によるものだという攻撃をびたりと停止しました。これは言わず語りに自分たちの非を認めたということでしょう。そういう意味でも、このベテラン操縦士ピーター・ハイセンコ氏の分析は必読です。

こうしてマレーシア航空機の撃墜事件を口実に、ロシアを攻撃しようとした試みが失敗したので今は（2014/09/01）ロシア軍がウクライナ領に侵略したという嘘を大々的にバラ捲きつつあります。しかしこれが嘘であったこともそのうち明らかになるでしょう。この状況を見ているとイソップ寓話「狼と少年」を思い出してしまいます。そのうちアメリカが何を言っても誰も信用しない時代が来るかも知れません。（参考：<http://eigokiji.cocolog-nifty.com/blog/2014/08/post-0090.html>）